

議会だより

vol.42
2015・10・15

第五回南方夏祭り

主催 南風吟



壬生小学校ソーラン

第3回定例議会〈会期：9月8日～9月25日〉

- ▶ 平成26年度歳入歳出決算 P2～P3
- ▶ 議案に対する質疑 P3～P4
- ▶ 一般会計9月補正予算 P4
- ▶ 議案に対する討論・審査結果 P5
- ▶ 一般質問 17議員が町政を問う P6～P14
- ▶ がんばってます(広島新庄中学校)..... P15
- ▶ グループ紹介(阿坂婦人田楽団) P16

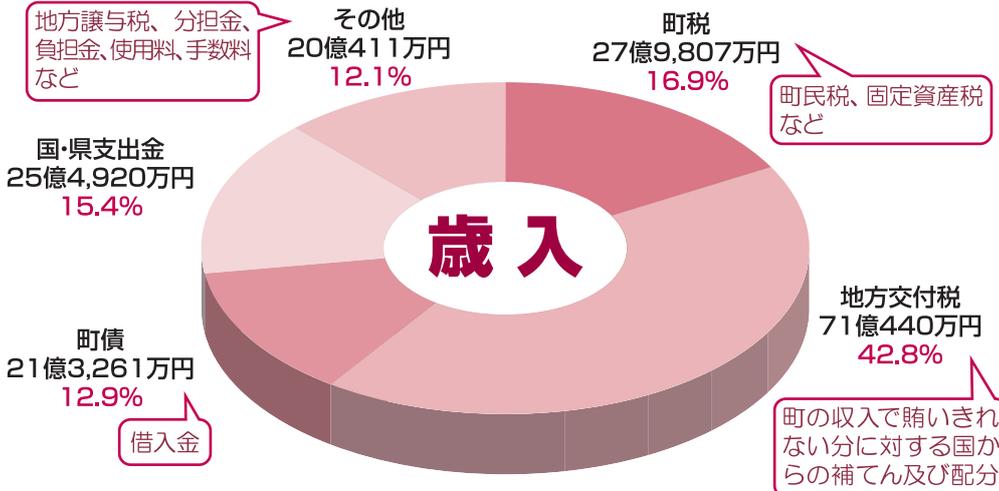
決算

【主な事業】

- 消防救急デジタル無線整備
- 芸北オークガーデン薪ボイラー導入
- 中学卒までの医療費助成拡充
- 町民温水プール整備
- 合併10周年記念事業…など

平成26年度一般会計決算 (千円以下四捨五入)

歳入 165億8,838万円



9月8日より開催された9月定例議会に提出された平成26年度決算議案について決算審査特別委員会に付託された。
 その中で「保育料滞納等の処理についての誤り」(※参照)が報告されたものの、審査の結果すべて認定とした。

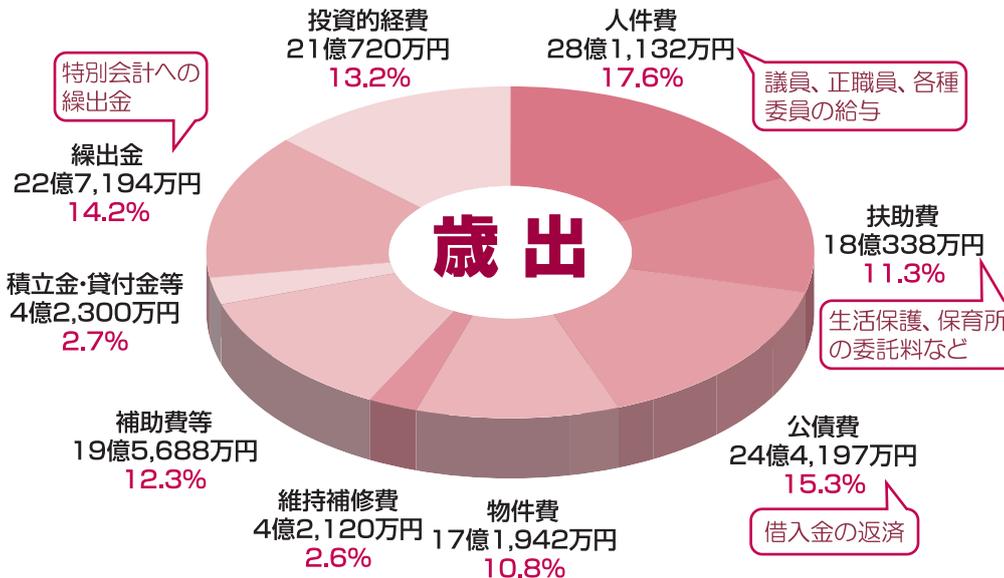
決算審査意見

代表監査委員 山根 千昭
 監査委員 中村 勝義

(概要) 一般会計・特別会計・関係調書いずれも関係法令に準拠して調製されており誤りのないものと認める。全般的老朽化の問題が多く見受けられ、計画的な施設の改修

が必要。債権管理の事務執行について、担当各課によって取り組みに対する温度差が感じられ、連携できるところは連携し目標を立てて徴収事務にあたっていただきた

歳出 159億5,631万円



※ 保育料の滞納等の処理に誤り

平成25年度の保育料滞納分(1,622,380円)及び千代田連合修学旅行団会計精算による利息(68円)を調定分に計上しない誤りがあった。町は「会計閉鎖後に判明したため訂正できないため、平成27年度会計処理において処理した。決算認定にあたっては法的には問題ない」としながら町長は「あってはならないことであり、事務処理を厳しく指導する」との「お詫び」の発言があった。

平成26年度決算 健全化審査「いずれも適正」(監査委員)

区分	決算健全化比率				早期健全化基準	財政再生基準
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
①実質赤字比率	—	—	—	—	13.29	20.00
②連結実質赤字比率	—	—	—	—	18.29	30.00
③実質公債費比率	19.0	17.5	17.2	16.7	25.00	35.00
④将来負担比率	137.2	119.5	105.7	95.9	350.00	—

(単位：%)

主な基金の決算年度現在高 (千円以下四捨五入)

基金名	出納閉鎖時の現在高 (2015年5月31日)	内 容
財政調整基金	23億 332万円	財源不足に備えるための貯金
減債基金	3億8,786万円	地方債の返済を計画的に行うための基金
地域活性化推進基金	3,412万円	活力ある町づくりを推進する地域活性化推進事業に要する経費の財源に充てる
し尿処理施設改修等基金	2,353万円	し尿処理施設の改修のため
地域振興基金	6億8,778万円	町民の連帯の強化と地域振興のための事業の費用に充てる
ふるさと基金	1,119万円	ふるさと寄附金を財源とした事業への充当及び寄附金を適正に管理運用するため
国民健康保険財政調整基金	1億4,719万円	国民健康保険特別会計からの基金
介護給付費準備基金	1億2,187万円	介護保険特別会計からの基金
芸北財産区基金	2,534万円	芸北財産区の財産の維持管理及び財産区の住民福祉の増進の財源とするため
情報基盤整備事業基金	1,917万円	きたひろネットの財政運営健全化を図るため
過疎地域自立促進基金	3億 20万円	ソフト過疎債を積立て、過疎地域の自立促進を図るための事業の費用に充てる

議案に対する質疑

決算審査特別委員会

一般会計

【歳入】・【歳出】

- Q 不納欠損や収入未済額が依然多くあるが対応と手立ては。
- A 生活困窮、財産なし、所在不明、倒産等。
- Q 住宅新築資金の収入未済額の対応は。
- A それぞれの実態を把握する。
- Q 抵当権や保証人への対応は。
- A 抵当権は3番以降。保証人との話はできていない。
- Q 昨年住宅使用料の大口滞納があったが納付されているか。
- A 現在分納中である。
- Q 生活保護費の返還金は何か。
- A 年金収入再計算による返還。
- Q 児童扶養手当の返還は。
- A 障害年金とのダブリ分。
- Q 返還予定額と返済額は。
- A 残は65万円余、分納月10000円。
- Q 役場のコピー料は高すぎる。
- A 公民館の印刷代なども含めて検討する。
- Q 小中学校の通学費は校区外でも助成はあるのか。
- A バスによる通学費助成は小学校10件、中学校10件している。
- Q 住民の要望はどう取り入れるか。
- A まちづくり条例を現在検討中。
- Q 豊平病院の現況はどうか。
- A 医師の確保に全力で取り組んでいるが進展していない。

特別会計

【歳入】・【歳出】

国民健康保険会計

- Q 国保税の収入未済額が増えている。
 - A 収納努力はしているが効果が表れない。
 - Q 法的措置も行っているのか。
 - A 昨年は差し押さえを16件して79万円納入できた。
- ##### 下水道会計
- Q 水道料の未収金の努力は。
 - A 督促・催告・裁判所申立て。
 - Q 4件の不納欠損の状況は。
 - A 所在不明3件、時効1件。
- ##### 簡易水道会計
- Q 漏水等をなくして有収率を上げなくてはいけない。
 - A 漏水等の調査をしているが、管の総延長は300km。
 - Q 不納欠損4件で214万円この対応は。
 - A 法的措置をとっても回収が見込めず経費が掛かる。
 - Q 時効の中断は。
 - A 効果のある事例ではない。
- ##### 電気事業会計
- Q 収入が予想以上にあったのに繰り入れたのか。
 - A 平成38年度までは一般会計から繰り入れる。

(次頁に続く)

芸北財産区会計

- Q 売り払い収入の増額を。
- A 立木売り払いで86万円。
- Q 売り払い計画は立てているか。
- A 伐採時期は計画している。

情報基盤会計

- Q 全戸に音声端末を。
- A 検討していない。
- Q 収入未済額があるが対応は。
- A 未納が続けば電波はストップ、現在8件停止。

後期高齢者会計

- Q 収納努力は。
- A 差し押さえ6件。
- Q 本町の税金は高いと言われるが本当が高いのか。
- A 標準課税を採用しているので、他の市町と差異はない。

【総括質疑】

- Q 滞納繰越分が未調定で決算額に上がっていないのを今議会で審議していいのか。
- A 会計閉鎖後であり数字は変更できない。法に抵触はしない。
- Q 収納努力はされているが、税の課税は公平に行われているか（住民税・固定資産税・軽自動車税）。
- A いずれも可能な限り調査研究を重ね公正な課税に努めている。
- Q 財政調整基金の適正額は。
- A 目標は20億円を切らないように。

議案審議及び補正予算の質疑

- Q マイナンバーの個人情報不安。
- A 基幹システムは情報系と切り離す。
- Q 事故あった場合、だれが責任を取るのか。
- A 町長が責任者。
- Q 水道の遠隔操作監視システムの落札率。
- A 73・5%。
- Q ふるさと寄附金1000万円余の補正は何件分か。
- A 予定金額なので件数は分からない。
- Q 小中学校の弾力化による通学バス補助対象者は何人か。
- A 小学生5件、中学生9件。今年から学区を超えたバス通学補助制度は廃止にした。
- Q 答弁の14件は卒業までであるが、昨年度までの制度で漏れたものは何件か。
- A 昨年度までの考え方で、今年漏れたのは3件。
- Q 変えた理由は。
- A 義務教育であり、公正・公平・中立に考えた。
- Q これまでは特別扱いだったのか。
- A 3件の該当者には内容の説明をした。
- Q 地方創生先行型1000万円の歳入内容は。
- A 10月までに策定した市町に交付される。
- Q 地域電子マネー、本町の景気にどう影響するか。
- A ヒロカなどのようにキャッシュレス決済ができる。

中学校・除雪・薪活…2億9,000万円
(千円未満四捨五入)

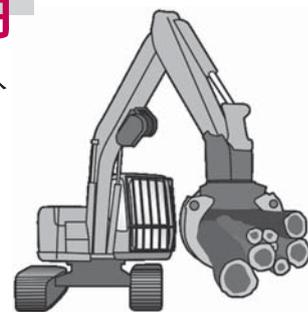
補正

■芸北中学校校舎等新築工事に伴う備品購入費… 3,098万円

平成28年3月完成予定。カーテンや机・ロッカー等の備品購入
【財源】 過疎債：2,400万円、芸北財産区基金：220万円、
一般財源：478万円

■千代田中学校体育館耐震工事… 1,188万円

【財源】 国交付金：1,051万円、合併特例債：120万円、
一般財源：17万円



木材グラップル

一般会計補正予算の主なものは左記のとおりです。

■町道、国・県道の除雪費追加… 6,040万円

【財源】 県委託金：3,040万円、一般財源：3,000万円

■林業振興のための重機(グラップル)等購入費…1,000万円

【財源】 国交付金（地方創生先行型）：850万円、一般財源：150万円

議案に対する討論

反対討論

美濃 孝一

一般会計歳入歳出決算

- ①住宅新築資金貸付金返済残が50006万円もあるのに真剣に解決しようとしないう。
- ②解放団体補助金を廃止し、一般行政に移さない。
- ③温水プールは多額の建設費と毎年3500万円もつぎ込みながら、利用者は目標の半分。にもかかわらず全町民が利用しているか調べていない。

国民健康保険特別会計決算

国民健康保険税の負担は重いにもかかわらず滞納者への「資格証」発行をやめない。

「ジェネリック薬品利用促進のためには医者がすすめることが一番だが「医師の考え方には温度差がある」との姿勢では、とてもはすすまない。

後期高齢者医療特別会計決算

年齢で差別する最悪の医療保険制度。年金から強制的に天引きし、滞納者への差し押さえをやめない。

個人情報保護条例の一部を改正する条例

住民登録している人全員に番号をつけ、納税や社会保障給付などの情報をデータベース化し国が一元的に管理、利用する仕組みとなっている。さらにこの情報の流出は完全には守れず、万一漏れた場合、誰がどう責任を取るか明言しない。

平成27年9月定例会 議案審査の結果

■全員一致で採択された議案・提案

平成26年度	北広島町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	北広島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	北広島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	北広島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
	北広島町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	北広島町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
	北広島町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	北広島町介護保険特別会計補正予算（第2号）
	北広島町電気事業特別会計歳入歳出決算の認定について	北広島町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
	北広島町芸北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	北広島町電気事業特別会計補正予算（第1号）
	北広島町診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	北広島町芸北財産区特別会計補正予算（第1号）
	北広島町情報基盤整備特別会計歳入歳出決算の認定について	北広島町診療所特別会計補正予算（第1号）
	北広島町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	北広島町情報基盤整備事業特別会計補正予算（第1号）
	北広島町豊平病院事業会計決算の認定について	北広島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
工事請負契約の締結について	北広島町水道事業会計補正予算（第3号）	
財産の取得について	工事請負契約の締結について	
財産の無償譲渡について	【提案】年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について	
平成27年度北広島町一般会計補正予算（第3号）	【提案】定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	

■賛否が分かれた議案・提案

議案名	議員名	○賛成 ●反対													審査結果					
		真倉	中田	久茂谷	藤堂	梅尾	森脇	柿原	室坂	中村	伊藤	浜田	藤井	蔵升		田村	美濃	大林	宮本	
平成26年度	北広島町一般会計歳入歳出決算の認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	北広島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	北広島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	北広島町個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	北広島町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

■請願・陳情等の審議・採決

件名	請願陳情者名	審査結果
年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める要請書	日本労働組合総連合会広島県連合会（連合広島）芸北地域協議会 議長 梅田 司	採 択
「豊平中そば打ちクラブ」のご支援について	豊平手打ちそば保存会 会長 児玉 洋一	採 択
少人数学級推進、教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、意見書採択についての陳情書	広島県教職員組合北広島支区 委員長 花藤 昌孝	採 択

17議員が町政を問う

どうする？
私たちの町づくり

一般質問の順番と質問項目		
質問時間30分、質問回数は制限なし。		
ページ	質問議員	質問項目
10	中村勝義	有害鳥獣対策の基軸にハンター育成を 地方創生元年 その認識と課題は
6	森脇誠悟	若者定住促進に向けた空き家対策について
7	藤井勝丸	「地方創生」政策の課題を問う
	藤堂修壮	北広島町創生総合戦略を問う
8	宮本裕之	米粉の利用促進で食料自給率の向上を 北広島町研究学園都市(サイエンスパーク)構想の実現を
	室坂光治	山林立木の伐採について問う
9	中田節雄	「まち・ひと・しごと・創生総合戦略」について問う 産業フェアの開催意義について問う
	大林正行	マイナンバー制度の疑問点を問う
10	柿原徳則	職員の町内移住について 民間手法の活用状況について
	梅尾泰文	年金と生活保護に光を
11	真倉和之	ふるさと納税の現状と民間資金の導入について 町民の健康管理への取組みについて
	美濃孝二	草刈り支援制度の創設を提案する 国の「地方創生」策は地域再生につながるのか
12	濱田芳晴	次世代を考えるパート5 ソバの乾燥施設を
	伊藤久幸	地方創生総合戦略は
13	久茂谷美保之	火葬場整備計画は
	蔵升芳信	道の駅「舞ロード」及び町民グランド 周辺の整備を問う
14	田村忠紘	保育所を「官」から「民」へ



森脇 誠悟

問 「空き家対策特別措置法」が制定され、市町の空き家対策が円滑にできるようになった。本町が昨年度実施した「空き家実態調査」結果に基づく具体的な今後の空き家対策について問う。まず危険空き家対策は。

答 建設課長

特別措置法で対応できるので、町の条例制定は、今は考えていない。本年度中に「空き家対策協議会」を立ち上げ、県と連携しながら取り組む。解体費

問 若者定住促進に向けた空き家対策を問う

答 空家バンクへの登録を推進する

用に対する助成は検討していない。その結果に基づき、具体策を検討していく。

問 利用可能な空き家も放っておけば危険空き家になる。登録件数が不足している「空き家バンク」に多く登録してもらえよう、所有者の意向調査が必要ではないか。

答 企画課長

登録してもらえないのは、「仏壇がある。墓参り等で利用する。修理が必要。」等の理由が考えられる。今後アンケートを実施し、

答 副町長

危険空き家は建設課、空き家の利活用は企画課が対応している。必要であれば人員増も検討する。



藤井 勝丸

問 「地方創生」政策の課題を問う

答 安全・安心、若者が住みたい定住対策を推進する

問 政府は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を決定し地方自治体にも「地方版・地方創生戦略」策定を求めている。本町は「長期総合計画」により施策を推進してきたが「総合戦略」はどこが違うのか。

島町に住み続けたい町づくりをめざし、定住促進対策を推進する。

事業効果の検証を。

問 「総合戦略」の計画、推進するにあたっての課題は。

「総合戦略」の計画、推進するにあたっての課題は。

答 企画課長

「北広島町長期総合計画」との整合性を図りながら人口減少対策を重点に計画を推進する。

答 企画課長

職員によるワーキング会議を立ち上げ計画、検証を行う。町民の意見を施策に反映するためアンケートや町民との懇話会など開催して計画し、行政懇談会などで理解協力を得て推進する。

答 企画課長

安全、安心、心豊かに生活できる、住みよい町、若い世代が「北広

問 特別プレミアム付商品券の販売状況、不公平・低所得者・高齢者に配慮した販売・

特別プレミアム付商品券の販売状況、不公平・低所得者・高齢者に配慮した販売・

“地方創生”の基本方針

- 若い世代の就労・結婚・子育て支援
- 「東京一極集中」の是正
- 地域の特性に即した課題の解決

答 商工観光課長

◎発行総額3億3千万円（プレミアム10％・購入者1466人（町民の7.5％）購入限度額30万円の購入者は712人（町民の3.6％の人が発行総額の64・7％を購入）

◎商工会と連携して経済効果など検証検討する。



藤堂 修 壮

問 北広島町の創生総合戦略を問う

答 地域を磨き人が輝くまちづくり

問 北広島町の創生カラーはなにか、またどのようなまちづくりを進めるのか。

北広島町の創生カラーはなにか、またどのようなまちづくりを進めるのか。

答 企画課長

町民主導のまちづくりを基本に地域力や民間活力を引き出す仕組みづくりを進め、住民が安心して暮らし、地域を誇りに思うまちづくりを目指す。また、事業を精査しその見直しと新しい事業への取り組みも考える。

答 町長

総合戦略は人口減少に歯止めをかける国の施策であり本町としてもそれに準じたものと

なるが、これからの農山村はビジネスモデルの提案の場となり、少子化に対する若の役割、再生可能なエネルギーである水や食料などの蓄積また災害時のバックアップなどを意識し総合戦略に取り組み。

再生可能なエネルギーである水や食料などの蓄積また災害時のバックアップなどを意識し総合戦略に取り組み。

問 創生戦略に対し町民は何をすべきか。

創生戦略に対し町民は何をすべきか。

答 企画課長

いま住んでいる町をよりよくするため、サービスを受け手ではなく担い手として地域活動や広域的活動に積極的な参加を望む。

答 企画課長

総合戦略は5力年の計画である。地域を磨き人が輝くまちづくりをめざす。戦略には「ひと」の影響が大きい。集落づくりや地域特性を生かし町民と共に取り組みを進める。

答 町長

総合戦略は5力年の計画である。地域を磨き人が輝くまちづくりをめざす。戦略には「ひと」の影響が大きい。集落づくりや地域特性を生かし町民と共に取り組みを進める。



宮本裕之

問

北広島町研究学園都市（サイエンスパーク）構想の実現を

答

課題を解決し取り組んでいく

問

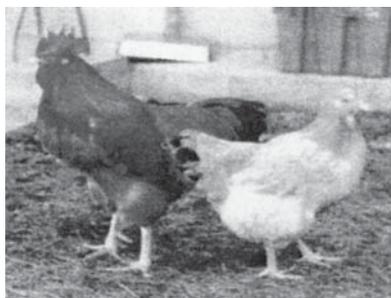
安倍政権は昨年、地方創生を最重要課題と位置づけ「まち・ひと・仕事創生本部」を立ち上げた。これは地方の活性化と人口減少対策のための総合戦略対策ともいえる。こうした状況の中、広島大学と民間企業が連携し、北広島町に新たな農業の振興対策として純国産地鶏と薬草の栽培をセツトにした研究学園都市・仮称（サイエンスパーク）構想が提案されている。この事業が「産・学・官・金」と結びつく

答

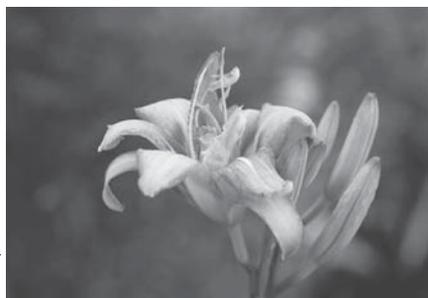
町長

この事業については、提案されている広島大学と企業等関連機関と協議し、本町としての総合戦略として取り組めることが可能か否か検討していく。サイエンスパーク構想は壮大であり課題も多くある。薬草に関しては投資も少なく問題はないものと考えているが、国産地鶏の飼育には投資を含め解決すべ

き問題があるが前向きに取り組みたい。



土佐九斤（トサクキン）



カンゾウ

問

山林立木の伐採について問う

答

立木伐採後の指導を行う



室坂光治

問

山林立木が伐採された後、緑の山に返すことはできないのか。重機を山林に乗り入れ伐採が行われるため、山肌が削り取られており地盤にも影響し土砂災害の危険性も高くなるのではないかと伐採の届け出や伐採後どのような指導が行われているのか。

答

建設課長

森林立木伐採時には、森林の規定により保安林の場合は県への許可申請が必要。普通林は町へ事前に伐採および伐採後の造林計画届け出を行うことが義務付けられており、届け出無しでの伐採は、伐採の中止及び造林を命じる事がある。伐採後の跡地は再度植林を行う場合と自然力により更新をはかる場合がある。を予防的に行うことはできないのか。また自然災害が起きた時どのように対応するのか。

問

8月25日台風15号により雨量が増し町道や林道では松枯立木が倒れ道路をふさぎ通行に支障が出た箇所もあった。危険な立木伐採状況である。



▲山肌が削り取られた山林

答

農林課長



中田 節雄

問

地方創生・総合戦略を問う

答

ビジョンは長期総合計画で検討

問

この質問は、すでに4人の議員から質問があったが、的確な答弁になっていない。まちづくり総合委員会には、産官学金の代表者が参加されているが、計画案の中には、これらの活用部分がないのは何故か。

答

企画課長

産官学金の代表者の方には、事業の評価にも参加して頂く。

問

さきに、サイエンスパーク構想を計画に盛り入れるべきとの質問があったが、この計画は、行政もブレゼンテーションを受

問

事業を執行するにはタイミングが

けており、民間企業が、広島大学との連携で純国産地鶏の飼育と薬草栽培で、国とも連携し、販売先まで確保している。米作の先き行きが見えない中で、この事業を導入することが町の活力にもなり、若者定住にもなるのではないか。

答

町長

この提案は億単位の資金を必要とすること、計画策定までに時間的余裕がないため、長期総合計画で検討したい。

答

町長

酷暑の日であり、開催時期を含め、色々と検討していく。

問

8月9日に本庁横で開催されたが、昨年よりも来場者も少

産業フェアの
開催意義は

答

副町長

月末頃には協議する。

問

情報漏えい対策は。

答

総務課長

マイナンバーのシス

答

町民課長

番号が他人に漏れただけでは特に問題は考えられない。

問

マイナンバーが他人に漏れたらどのような問題が考えられるのか。

答

町民課長

10月5日から簡易書留で通知カードが送付される。

問

マイナンバーはいつからどのような方法で通知するのか。



大林 正行

問

マイナンバーの情報漏えい対策は

答

システムの改修や人為的漏えい対策を講じる

問

金融機関でも口座開設にマイナンバーが必要になるのか。

答

町民課長

平成30年から必要になるが当面は個人の自由である。

問

写真付きの個人番号カードは希望者に来年1月から交付されるが手数料は。

答

町民課長

1回目は無料で再交付は、800円。

問

支所でも交付してもらえるのか。

答

町民課長

各支所でも交付する。住所地にある支所に行つてほしい。

問

マイナンバー導入のメリットは。

答

町民課長

行政事務の効率化が図られる。住民の立場からは、各種申請の際に住民票とか所得証明の添付が不要となり、手続きが簡単で経費も節約できる。



柿原 徳 則

問 役場職員の内、町内移住対策を問う

答 憲法に保障されている権利であり対策をしていない

問 町外在住の職員は何人で全職員の何%か。また他の市町村の実態把握はどうか。

答 職員は63人・全体の18%で、他の市町村は把握していない。

問 通勤・住宅手当は町外在住職員と町内在住職員の差はあるのか。

答 町外在住職員については、町内在住職員に比べて差はない。

問 町外在住職員について、在任理由の聞き取り調査は行っているか。

答 町内在住職員については、理由として婚姻とか子供の就学等であると思う。

問 町外在住職員の対策をとっているか。

答 町外在住職員に対して何らかの対策をとっている。

問 町外在住職員の町内への移住について対策を取ったことはない。憲法に保障されている権利であり対策をとっていない。

答 現在2名している。

問 業務以外で、町外在住職員は地域行事に参加されているのか。

答 聞き取りなど実態調査はしていないが、例えば神楽団の活動であるとか町外に住んでいてもそういった活動をしている職員がいると聞いている。

問 町外在住職員の町内への移住について対策を取ったことはない。憲法に保障されている権利であり対策をとっていない。

答 町外在住職員について、在任理由の聞き取り調査は行っている。

問 町外在住職員の町内への移住について対策を取ったことはない。憲法に保障されている権利であり対策をとっていない。

答 町外在住職員について、在任理由の聞き取り調査は行っている。



中村 勝 義

問 有害鳥獣対策の基軸にハンター育成を

答 免許取得時助成し、担い手育成・確保

問 野生鳥獣による農作物の被害は、今や全国的に増加する傾向にある。やりたい放題の有害鳥獣が広い範囲で農家を苦しめている。被害防止については主に有害鳥獣駆除班に対策を委ねている。個々の農家でもトン・電気柵等は安価で効果は大きく欠かせないものであるが、この7月に静岡県で電気柵による感電死亡事故が発生し波紋を広げた。鳥獣対策・安全対策について問う。

答 野生鳥獣による農作物の被害は、今や全国的に増加する傾向にある。やりたい放題の有害鳥獣が広い範囲で農家を苦しめている。被害防止については主に有害鳥獣駆除班に対策を委ねている。個々の農家でもトン・電気柵等は安価で効果は大きく欠かせないものであるが、この7月に静岡県で電気柵による感電死亡事故が発生し波紋を広げた。鳥獣対策・安全対策について問う。

問 野生鳥獣による農作物の被害は、今や全国的に増加する傾向にある。やりたい放題の有害鳥獣が広い範囲で農家を苦しめている。被害防止については主に有害鳥獣駆除班に対策を委ねている。個々の農家でもトン・電気柵等は安価で効果は大きく欠かせないものであるが、この7月に静岡県で電気柵による感電死亡事故が発生し波紋を広げた。鳥獣対策・安全対策について問う。

答 野生鳥獣による農作物の被害は、今や全国的に増加する傾向にある。やりたい放題の有害鳥獣が広い範囲で農家を苦しめている。被害防止については主に有害鳥獣駆除班に対策を委ねている。個々の農家でもトン・電気柵等は安価で効果は大きく欠かせないものであるが、この7月に静岡県で電気柵による感電死亡事故が発生し波紋を広げた。鳥獣対策・安全対策について問う。

問 野生鳥獣による農作物の被害は、今や全国的に増加する傾向にある。やりたい放題の有害鳥獣が広い範囲で農家を苦しめている。被害防止については主に有害鳥獣駆除班に対策を委ねている。個々の農家でもトン・電気柵等は安価で効果は大きく欠かせないものであるが、この7月に静岡県で電気柵による感電死亡事故が発生し波紋を広げた。鳥獣対策・安全対策について問う。

答 野生鳥獣による農作物の被害は、今や全国的に増加する傾向にある。やりたい放題の有害鳥獣が広い範囲で農家を苦しめている。被害防止については主に有害鳥獣駆除班に対策を委ねている。個々の農家でもトン・電気柵等は安価で効果は大きく欠かせないものであるが、この7月に静岡県で電気柵による感電死亡事故が発生し波紋を広げた。鳥獣対策・安全対策について問う。

問 野生鳥獣による農作物の被害は、今や全国的に増加する傾向にある。やりたい放題の有害鳥獣が広い範囲で農家を苦しめている。被害防止については主に有害鳥獣駆除班に対策を委ねている。個々の農家でもトン・電気柵等は安価で効果は大きく欠かせないものであるが、この7月に静岡県で電気柵による感電死亡事故が発生し波紋を広げた。鳥獣対策・安全対策について問う。

① 駆除班毎の年齢と資格

	人数	40まで	60まで	80まで	わな	銃	両方
芸北	16	5	9	2	2	6	8
大朝	16	2	8	6	6	3	7
千代田	17	1	14	2	0	5	12
豊平	13	1	7	5	0	3	10
計	62	9	38	15	8	17	37

問 有害鳥獣対策の基軸にハンター育成を

答 免許取得時助成し、担い手育成・確保

② 鳥獣別報償単価は

③ 防止器材補助は

④ 安全対策の周知は

⑤ 被害査定と補償は

⑥ 解体処理・ジビエ施設の事業採択は

⑦ ハンターの担い手育成と確保策は

② 報償単価

③ 資材費の合計が3万円以上のものに対して補助率3割・補助限度額5万円。

④ 全町域への放送・ホームページ・パンフレットの配布。

⑤ 町の補償制度なし

⑥ 農林水産省実施の六次産業化ネットワーク交付金あり。

⑦ 免許取得時に1万円助成し担い手の育成と確保を図る。



梅尾 泰文

問 年金と生活保護に光を

答 制度をしつかり発信する

どうか。

問 年金制度ができて半世紀以上になるが受給はなぜ2カ月に1回なのか。

答 町民課長

以前は年4回だった。

問 4回が6回にできただのだから12回もできるはずだ。今回の行政報告では生活保護、95世帯と151人と報告されているが、他の市町と比較して多いのか少ないのか。

答 福祉課長

関係機関に迅速な対応を要請し、14日以内には結論を出している。

答 福祉課長

広島市と比較して3分の1くらいである。

問 相談や申請決定など1年の件数は

援を行っている。

答 福祉課長

昨年は相談26件、申請9件、決定7件、却下・取下2件。

問 審査には金融機関等への調査もあり、時間がかからないか。

答 福祉課長

関係機関に迅速な対応を要請し、14日以内には結論を出している。

問 決定したらどう対応するのか。

答 福祉課長

家庭訪問をして生活向上等の確認や自立支援を行っている。

問 就労斡旋の状況と成果は。

答 福祉課長

過去2年で5人が就労している。

問 生活保護の制度について情報発信することも必要であるが、制度を理解せず目に余る行動をしている人はいないか。

答 福祉課長

制度について理解を求め、受給者の発言・行動に誤解を招く行為があれば厳しく指導する。

問 制度について理解を求め、受給者の発言・行動に誤解を招く行為があれば厳しく指導する。

答 福祉課長



真倉 和之

問 ふるさと寄附の現状と民間資金の導入を問う

答 魅力的町として次の寄附に結びつく取り組みをする

問 人口減少が始まり高齢化の進展による社会保障費が増加する中で民間資金をいかに自治体に取り入れていくことができるかがある。これがふるさと寄附だと考える。町長は北広島町4地域のふるさと会に出席しふるさと寄附金を依頼された成果は。

答 企画課長

ふるさと寄附金は平成26年4月から平成27年8月末までの実績は総件数446件で寄附額は1453万円で町内出身者の寄附件数の約28%となっている。ふるさと寄附金の使い道は4点で15項目の使途があるが、寄附金の使い道を15項目を指定し複数指定することもできる。

答 保健課長

平成25年度に町内4カ所のモデル事業でスタートし現在は20カ所で実施し、参加人数は7月末で430人で事業の基本目標は①住民の健康度アップ②地域のコミュニティの活性化で、実施後のアンケートで80・8%の方が健康になった。84・0%の方が活発化したと答えている。

健康管理への取り組みは

問 北広島町ではいつまでも、高齢者の健康であることを願って元気づくリシステム体系を構築しており、健康体操に参加することで友達も増え、明るく体調の良い日が送られると聞いているが、今日までの成果をどう評価しているのか。



▲健康体操



美濃 孝二

問 「町道の草刈り」に町の支援を

答 来年度からの運用をめざす

問 日本共産党・町民アンケートでは「町道草刈り支援」の要望が多い。三次市や世羅町のように北広島町も支援を。

答 建設課長

現在の交付金制度も視野に、来年度からの運用を目標に事務をすすめている。

問 これを契機に農道や畦畔、河川等の草刈りに支援を。

答 町長

検討していくべき。

地域再生につながる「総合戦略」を

問 大朝では転入者が転出者を上回っている。

答 企画課長

目標数字は必要。

問 「定住促進課」を。

問 「町道の草刈り」に町の支援を

答 来年度からの運用をめざす

答 企画課長

政策立案室が担う。

答 町長

一番のキーは「人」、集落ぐるみとりくみが移住しやすい環境をつくる。

答 町長

答 町長

問 策定期日延期を。

答 町長

見直しはできる。

問 10月末は変えない、

問 策定期日延期を。

答 町長

問 策定期日延期を。

答 町長

問 策定期日延期を。

答 町長

問 策定期日延期を。

答 町長



浜田 芳晴

問 農業の次世代を考えるパート5

答 取り組み

問 農地の第三者に譲るモデル事業により1名の若者が認定農家として研修を始めた。独立時に数名の認定農家、営農組合長、農業委員会や農地中間管理機構の事業で農地の集積を行なう。

答 農林課長

問 制度は利用しないが、果樹、畜産、ハウス経営を移譲した事がある。

答 農林課長

問 農業委員会の耕作放棄地の調査及び経営移譲調査を行い、第三者への移譲に取組むか。

答 農林課長

問 農地の第三者に譲るモデル事業により1名の若者が認定農家として研修を始めた。独立時に数名の認定農家、営農組合長、農業委員会や農地中間管理機構の事業で農地の集積を行なう。

答 農林課長

問 農業の次世代を考えるパート5

答 取り組み

問 今までに第三者へ譲った例があるのか。

答 農林課長

問 制度は利用しないが、果樹、畜産、ハウス経営を移譲した事がある。

答 農林課長

問 農業委員会の耕作放棄地の調査及び経営移譲調査を行い、第三者への移譲に取組むか。

答 農林課長

問 今までに第三者へ譲った例があるのか。

答 農林課長

ソバの乾燥施設を

問 ソバの収穫は、Jライスセンター

の稲の乾燥後になり、ソバ



ソバの花

問 乾燥施設は、必要と思う。国の補助事業ある。

答 町長

問 乾燥施設は、必要と思う。国の補助事業ある。

答 町長

問 乾燥施設は、必要と思う。国の補助事業ある。



伊藤久幸

問 地方創生総合戦略は

答 人口規模・構造の変化を見すえた定住促進を推進する

問 人口減対策、定住促進等の都市一極集中解消を主軸とした地方創生総合戦略を10月に策定予定。本町独自の主体性のある総合戦略の内容は。

答 町長
ふるさと夢教育、若者定住対策、空き家対策等を充実し、スポーツを基軸にした取り組みを行う。

答 企画課長

町の特性を生かし地域資源を活用した住みよい町づくり。また、人口規模、人口構造の変化を見すえた定住促進施策を推進する。他の施策はワーキング会議等で検討中。

問 戦略策定は10月の提出でよいか。

答 副町長

長期総合計画をつくる過程で総合戦略に関わる部分も議論し変更する作業もある。

問 地方に移住する高齢者の生活拠点を整備する「生涯活躍の町」構想は。

答 企画課長

当構想は財政的問題等々課題があり、国から財政的支援があるとしても現時点では施策に取り入れられない。しかし、全国の状況等で方針が変わることはある。

問 介護職員の不足が深刻な状況だが処遇改善等の施策は。

答 保健課長

介護職員の育成は重要課題。県と協議し取り組みを行う。

問 新型交付金獲得は、国と本町の結束が重要。対策は。

答 企画課長

国の動向を注視し県の指導と連携で対応する。



久茂谷美保之

問 火葬場整備計画は

答 火葬場整備基本計画を策定

問 芸北「浄寿苑」は、昭和51年に建築、築後約40年が経過している。浄寿苑の整備計画を問う。

答 町民課長
町内全体の火葬場整備基本計画の素案を今年度中に考え、北広島町長期総合計画と合わせる。

問 休憩室が完備された施設を考える。

答 町民課長

休憩室が完備された施設を考える。

問 豊平「光寿苑」は築後18年が経過、今日まで屋根の修理、火葬炉の修理を行ってきた。また、火葬炉は1つで、増設できるスペースがあるが火葬炉の増設の考えを問う。

答 町民課長

増設は考えていない。

問 大朝地域は、邑南町「紫光苑」と契約しているが、最近、J A広島北部千代田虹のホールでの葬儀が増えているため邑南町との契約と負担金を問う。

答 町民課長

契約は、平成17年2月で更新の時期はない。負担金は、過去1年間の使用件数により按分している。



▲浄寿苑（芸北地域）



蔵 升 芳 信

問

道の駅「舞ロードーC」の整備を問う

答

トイレの改修については県に要望する

問

①緑の広場に遊具の設置を

②管理棟会議室を各種

展示スペース等に

③テイクアウト前通路

への風雪防護対策を

④商工観光課は本庁へ

の移転を

⑤駐車場の拡張対策と

都市計画道路「古保

利・河本線」の整備

計画は

⑥大太鼓照明設備の改

善を

⑦道の駅トイレの早期

改修を

⑧産直棟入荷室の改善

を

答

商工観光課長

①固定遊具の設置は考えていない。

問

道の駅「舞ロードーC」の整備を問う

答

トイレの改修については県に要望する

②今のままで活用する。

利用方法については

検討する。

③今議会に補正予算を

計上した。

④事務に支障は無いと

思っているので、本

庁への移動は考えて

いない。

⑤緑の広場を臨時的に

使用する。都市計画

道路については、来

年度には結論を出す。

⑥改善は考えていない。

⑦県に要望を行って

いく。

⑧指定管理者及び出

荷者協議会と協議す

る。

問

町民グラウンド周辺整備を問う。弓



遊具が設置されている「道の駅」東広島市 福富町

答

町長

検討を行っているが、来年度には具体的な整備について結論を出す。整備は後年度になるかもしれない。

問

現在、北広島町には、保育所

が12施設と、幼保連

携型認定こども園が

1施設の計13施設が

ある。この中で、町が

直轄で運営に当たっ

ている町立保育所が

5施設あり、残る8

施設は、民間で運営

している。「官」から

「民」への潮流の中、

いずれ保育所の運営

は民間に統一するべ

きと思うが。

答

福祉課長

北広島町こども未来推進プランに沿って、質の向上と地域の実情に応じた良質な保育を目指し、民

問

保育所を「官」から「民」へ

答

公立のスリム化を図っていく

間の力を借りながら、公立のスリム化を図っていく。



ルンビニ園保育所

がんばっています!!

私立広島新庄中学校

「文武両道」

自らを生かすことを目指して



広島県新庄学園は吉川元春公への贈位を記念して、地元有志で創立されました。豊かな人間性を育み、自発創成の精神を涵養し、地域社会に貢献できる人間を育成するという建学の精神を受け継ぎ、今年で106年を迎えました。県北唯一の私立中高一貫校で、北広島町の生徒を中心に中学校182名、高等学校392名が在籍しています。

『中高6カ年の教育活動』

6カ年を見通したカリキュラムを設定し、「手塩にかける教育」によ

って、人間力、教科学力の育成を目指しています。生活ノートや面談、LHRに加え、今年から「たかねプロジェクト」として、地域の方を講師に招き、様々な生き方や考え方を学ぶ機会を作っています。



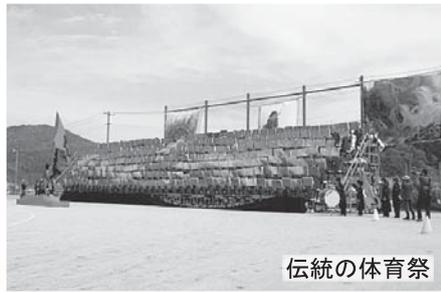
毎日の朝読書

学力面では、教員の授業力向上研修とともに、日常的な補充やクリアーテストシステムなどで基礎学力の定着を図り、確実にどの学年も伸ばしています。また授業改革として、ペア・グループワークなどの「協働学習」も取り入れ、課題解決的な授業を目指しています。「聞く・話す・読む・書く」という言語能力向上は必須条件で、毎日の朝読書はその一環です。また新庄高校への入試はなので、スムーズに高校内容の先取りが進められ、半年早く、高校卒業後の進路実現に向けて準備をすることができま

す。クラブ活動も頑張っています。ほとんどのクラブが中高一緒に活動し

『行事』

体育祭は中1〜高3まで全校が参加する本校最大のイベントです。紅白に分かれての応援合戦は圧巻です。すべて生徒により企画運営され、リーダーを務める高3は中学生のあこがれであり、目標です。



伝統の体育祭



合唱コンクール

他者理解、表現力の向上などを目標とした合唱コンクールは、年々レベルが上がり、クラス団結の場となっています。今年

は9月23日に行われました。

『夏甲子園応援』

皆様のご支援により、この夏、新庄高校野球部は、県北初の夏甲子園出場を果たしました。ありがとうございました。一回戦は中1〜高3で全校応援をし、中学生も精一杯応援しました。貴重な体験となりました。

『新庄自然科学プログラム』

本年度本校は、文科省「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」に採用されました。

北広島町の自然を教材に生物多様性を柱とした3カ年プログラムです。各分野の専門家や地元の方を講師に迎え、生徒自身が自ら課題を見つけ、主体的協働的に課題を解決する力をつけることを期待しています。

大きなテーマは、今年で5年目になる「テングシデの研究」

に、「オオサンショウウオの研究」、「八幡湿原の再生と生態系」です。



5年目の『天狗シデの研究』

グループ紹介

めずらしい女性田楽団

阿坂婦人田楽団 代表者 沖田 安子

豊平の阿坂地区には、戦前から男性を中心とした田楽があり、戦後には男性に代わり当初の婦人田楽団が活躍していましたが、その後時代の流れとともに途絶えていきました。しかし、「豊作を願う地域の素晴らしき無形文化である田楽を復活させよう」と、昭和62年に女性仲間が自主的に集まり発足し、現在に至っています。

女性だけの田楽は大変珍しく、ステージや広場など足場の硬い場所で演じ、胴のしなやかで派手な動作や早乙女の踊りが特徴的です。地域の祭りやイベント、施設への訪問など積極的に参加しています。

発足当初はお互いに若く楽にできたことも、年齢を重ね体力の衰えは隠せませんが、なんとか地域の伝統文化を守り伝えていきたい強い気持ちと楽しくをモットーに、現在24名の団員が頑張っています。



地域の仲間と楽しく伝統文化を守っている



女性ならではのしなやかな動きが持ち味

表紙の写真



南方夏祭りは『南風会』が中心になり開催しています。

当日は子どもたちによる千石太鼓・花笠踊り・ソーラン・田楽をはじめ、フラダンス・踊り、歌など盛りだくさんです。

この夏祭りに地域の皆さまがほとんど参加され、和気あいあいと歓談されています。

今年で第5回目を迎えましたが、継続することにより地域おこしにつながることを期待しています。

全国町村議会議長会から

加計議長に感謝状



8月10日、北広島町議会議長・加計雅章氏が、広島県町議会議長会会長として尽力された功績に対し、

全国町村議会議長会会長から感謝状が贈られました。

あしがき

稲刈りもほぼ終わり、秋祭りのシーズンを迎えました。

今年には台風が4度も上陸するなど、日本列島各地に大きな爪痕を残しました。被災されました皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興を願います。

幸い本町には大きな被害は出ませんでした。過去にゲリラ豪雨による土砂災害を経験しており、常日頃から災害に対する心構えを持つことが大切です。

本町の自主防災組織率も今年やつと50%を超えたばかりであり、100%を目指した今後の組織編成が望まれます。

秋は食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋と楽しみ満載です。皆様はどの秋が楽しみでしょうか。

紅葉も日増しに深まり、朝夕めつきり寒くなってきました。お身体をご自愛下さい。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

【発行責任者】

議長 加計 雅章

【議会広報特別委員会】

委員長 梅尾 泰文

副委員長 美濃 孝二

委員 久茂谷美保之

委員 森脇 誠悟

委員 柿原 徳則

委員 藤井 勝丸

委員 宮本 裕之